



鳥取県県土整備部測量等業務成績評定要綱の制定について（通知）（その４）

技術基準の種類：例規
通知日：平成15年 3 月26日

5 調査業務

（１）第１評定（監督員等）用

評 価 項 目		評 価 基 準	評 価 細 目
専門 技術 力	提案力、改 善力	①業務着手段階 における業務 特性等の考慮	評価細目チェック数 0→c 1→b 2→a □当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 □当該作業の特性を考慮しつつ、新たなあるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
		②業務遂行上必 要となる課題 と提案	評価細目チェック数 0→c 1→b 2→a □関連する多角的な視点から検討された。 □検討課題とともに今後実施すべき検討事項・方針が提案された。
		③業務内容等の 改善の提案	評価細目チェック数 0→c 1→b 2→a □業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 □業務の内容、精度を向上させる提案が自主的になされた。
	業務遂行技 術力	①目的と内容の 理解	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a □業務計画書に必要事項が記載されている。 □当該業務の目的、内容が理解されていた。 □業務計画書の実施方法等に業務内容を具体化する記述があった。 □特記仕様書等を示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		②必要情報の把 握	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a □業務着手時点において、必要な資料等が収集された。 □業務実施の各段階で入手した資料や情報が理解・活用されていた。 □業務遂行段階で、追加情報の収集努力がされていた。 □業務遂行段階で当該作業に役立つ情報が自主的に提供された。
		③検討項目、検 討手法	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a □検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 □採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □業務目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 □提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用したものであった。
		④打ち合わせ資 料の内容	評価細目チェック数 0→c 1→d 2→e □打ち合わせ資料に業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 □打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		⑤十分な技術力	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a □業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 □特記仕様書等を示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 □業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 □高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
	施工時への 配慮	①調査に関する 一般的な知識	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a □設計、図書作成において留意すべき知識、調査に関する一般的な知識を有していた。 □調査方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 □調査方法の内容とその長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 □調査方法が周辺環境に及ぼす一般的な影響を理解していた。

評 価 項 目		評 価 基 準	評 価 細 目
専門 技術 力	施工時への 配慮	②施工条件の把握 評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a	☐ 当該地点における調査上の制約条件や問題点を把握していた。 ☐ 当該地域の環境特性を把握していた。 ☐ 調査条件を的確に踏まえた調査方法、機器等の配置計画が提案されていた。 ☐ 調査上の留意事項が、調査段階別に提案されていた。
管理 技術 力	工程管理能 力	①実施手順、工 程計画、実施 体制 評価細目チェック数 0→c 1→d 2→e	☐ 下記のいずれかに該当した。 ア) 契約締結後14日以内に業務工程表が提出されなかった。 イ) 契約締結後7日以内に業務計画書が提出されなかった。 ウ) 契約図書に基づき管理技術者等々の通知がなされなかった。 ☐ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されなかった。
		②打ち合わせ内 容の理解、記 録 評価細目チェック数 0→c 1→d 2→e	☐ 打ち合わせ記録簿が提出されなかった。 ☐ 打ち合わせ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映していなかった。
		③受注者内部の 情報伝達 評価細目チェック数 0→c 1→d 2→e	☐ 受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打ち合わせ事項が資料等に反映されなかった。 ☐ 受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施した。
		④工程管理 評価細目チェック数 0→c 1→d 2→e	☐ 工程に遅れが目立ち、履行期間内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く) ☐ 工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)
	迅速性、弾 力性、調整 能力	①当初計画の変 更 評価細目チェック数 0→c 1→b 2→a	☐ 業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 ☐ その結果で生じた変更業務の内容が特に優れていた。
		②円滑な業務遂 行への努力 評価細目チェック数 0→c 1→b 2→a	☐ 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が円滑に作成された。 ☐ 作成された資料の内容が、特によく取りまとめられていた。
コミュ ニケー ション 力	説明力、プレゼン テーション力、 協調性	①理解しやすい 説明・プレゼン テーション 評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a	☐ 打ち合わせ開始時に、打ち合わせの趣旨・目的が説明された。 ☐ 図表等を用いるなど資料内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ☐ 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。 ☐ 質問に対する的確な回答がなされた。又は即答できない場合には回答期限が提示された。
		②円滑な業務遂 行への努力 評価細目チェック数 0→c 1→b 2→a	☐ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされていた。
取組 姿勢	責任感、積極 性、倫理観	①責任感、積極 性、倫理観 評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a	☐ 管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ☐ 打ち合わせにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ 業務遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速に行われた。

評 価 項 目		評 価 基 準	評 価 細 目
成果品の品質	①目的の達成度	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a	☐ 設計図書に提示された項目が、もれなく実施された。 ☐ 業務遂行段階での指示事項が、もれなく実施された。 ☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ 高度な技術レベル、多岐に渡る検討項目など、難易度の高い業務に対する必要な業務成果が得られた。
	②的確な取りまとめ	評価細目チェック数 0→e 1→d 2→c 3→b 4→a	☐ 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項をもれなく取りまとめている。 ☐ 理解しづらい文章表現は、ほとんど認められない。 ☐ 簡潔で理解しやすい表現であり、記載方法に創意工夫が見られ読みやすい。 ☐ 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	③ミスの有無	評価細目チェック数 該当無し→c ☐ 1→d ☐ 2→e	☐ 1 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ☐ 2 成果品に大きな影響を及ぼすような、重大なミスがあった。

(2) 第2 評定（検査員等）用

評 価 項 目		評 価 基 準	評 価 細 目
専門 技術 力	業務遂行技術力	①目的と内容の理解	評価細目チェック数 0 → c 1 → b 2 → a ☐ 当該業務の目的、内容が理解され、特に評価できるものであった。 ☐ 特記仕様書等を示された当該業務と関連する他の業務・事業が理解されていた。
		②必要情報の把握	評価細目チェック数 0 → c 1 → b 2 → a ☐ 業務遂行段階で、追加情報の収集努力がされていた。 ☐ 業務遂行段階で当該作業に役立つ情報が自主的に提供され、特に評価できるものであった。
		③検討項目、検討手法	評価細目チェック数 0 → e 1 → d 2 → c 3 → b 4 → a ☐ 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ☐ 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ 業務目的に照らし必要な調査又は作業項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用したものであった。
		④打ち合わせ資料の内容	評価細目チェック数 0 → c 1 → d 2 → e ☐ 打ち合わせ資料に業務の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていなかった。 ☐ 打ち合わせ資料に大きなミスがあった。
		⑤十分な技術力	評価細目チェック数 0 → e 1 → d 2 → c 3 → b 4 → a ☐ 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ 特記仕様書等を示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ 業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ 高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
管理 技術 力	工程管理能力	①打ち合わせ内容の理解、記録	評価細目チェック数 0 → c 1 → d 2 → e ☐ 打ち合わせ記録簿が提出されなかった。 ☐ 打ち合わせ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映していなかった。
		②工程管理	評価細目チェック数 0 → c 1 → d 2 → e ☐ 工程に遅れが目立ち、履行期間内に納品されない恐れがあり、繰り返し指示を行った。（発注者側に遅延要因がある場合を除く） ☐ 工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ぼした。（発注者側に遅延要因がある場合を除く）
	品質管理能力	①ミス防止の実施	評価細目チェック数 0 → c 1 → b 2 → a ☐ 第三者（管理技術者、担当者、照査技術者）以外のチェック等自主的な品質管理の努力がなされた。 ☐ 品質管理のためのシステムが構築されている専門部署でチェックを行った。
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	①理解しやすい説明・プレゼンテーション	評価細目チェック数 0 → e 1 → d 2 → c 3 → b 4 → a ☐ 一般論と当該業務固有の議論が明確に区分されていた。 ☐ 曖昧な表現がない。的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ 説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分な場合他のメンバーにより補足説明がなされた。 ☐ 相手の理解度に応じ、説明のポイント・早さ等が工夫されていた。
成果品の品質		①目的の達成度	評価細目チェック数 0 → e 1 → d 2 → c 3 → b 4 → a ☐ 設計図書に提示された項目が、もれなく実施された。 ☐ 業務遂行段階での指示事項が、もれなく実施された。 ☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ 高度な技術レベル、多岐に渡る検討項目など、難易度の高い業務に対する必要な業務成果が得られた。

評 価 項 目		評 価 基 準	評 価 細 目
成果品の品質	②的確な取りまとめ	評価細目チェック数 0 → e 1 → d 2 → c 3 → b 4 → a	☐ 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項をもれなく取りまとめている。 ☐ 理解しづらい文章表現は、ほとんど認められない。 ☐ 簡潔で理解しやすい表現であり、記載方法に創意工夫が見られ読みやすい。 ☐ 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	③ミスの有無	評価細目チェック数 該当無し → c ☐ 1 → d ☐ 2 → e	☐ 1 誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ☐ 2 成果品に大きな影響を及ぼすような、重大なミスがあった。